

福山100NEN教育 2021年度(令和3年度)有磨小学校 全体構想図

福山市 めざす子ども像

福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

中学校区 めざす子ども像

ふるさと芦田に愛着と誇りを持ち、未来を切り拓き、たくましく生きる子ども

学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的に生きる 有磨っ子 を育てる
 「よく聴き 進んで学ぶ子」 「なかよく助け合う子」 「最後までやりぬく子」

児童の実態

- ・きまりを守る集団である。
- ・学習に意欲的に取り組む。基礎的学力は概ね定着、活用する力に課題がある。進んで発表したり根拠を明確にしたりして説明ができる児童が増えてきたが、考えを深め、表現することが苦手な児童がいる。

課題

- ・経験や既習事項を根拠とし、自己の考えを豊かに表現する。
- ・自他とのかかわりを大切にし思考を深める。
- ・学んだことを日常の様々な場面で行動化する。

地域の実態・保護者の願い

- ・三世代にわたり本校の卒業生という家庭も多く、学校教育活動に対する理解協力支援の厚い地域である。
- ・児童が安心安全に過ごし、生き生きと活動する、豊かな学びのある学校を望んでいる。

重点課題

他者の考えを聞くことをとおして、自己の考えを深める 自己の考えを他者に話すことをとおして、自己の考えを高める

育成すべき”21世紀型スキル&倫理観”

問題解決・意思決定 コミュニケーション 思いやり

育成すべき”21世紀型スキル&倫理観”を身につけた児童生徒の姿

	小1・2	小3・4	小5・6, 中1	中2・3
問題解決 意思決定	課題に対してあきらめずに取り組み、類似点・相違点を見つけたり、理由づけをしたしながら表現している。	課題に対して見通しをもち、他の考えと比較したり、それをもとに新たな発見をしたりしながら解決している。	自ら課題を見つけ、複数の情報を元に、類推したり、深化させたりするなど、工夫しながら解決している。	自らの考えをもち、既習事項、収集した情報や生活体験などを根拠にして、比較、分類、関連付けて物事を考え、解決している。
コミュニケーション	自分の考えをはっきりと、最後まで伝えている。	友だちの考えとつなげたり、比較したりしながら話している。	話し手の意図を考えながら聞いたり、相手の意見を受けて自分の考えを話したりしている。	多様な他者との意見の違いを認め、思考・判断したことを分かりやすく表現したり、議論したりしている。
思いやり	学校や地域の人に自分から声をかけている。身近な人に温かい心で接し、親切にしている。	学校や地域の人と自分から関わろうとしている。相手の気持ちを考えて、進んで親切にしている。	学校や地域をより良くするために行動している。相手の立場に立ち、誰に対しても親切にしている。	地域や社会との関わり合いを通して、人としての思いやり、周りへの感謝の心を持ち、その気持ちを行動や言葉に表している。

取組の重点

- ◇「学校、授業は面白い」と感じさせるような教育活動の深化
- ◇「子ども主体の学び」「課題発見・解決学習」による授業づくり 【芦田中学校区統一研究教科：道徳】
 - ・児童の「言葉」と「気づき」でつないでいく授業の実践
 - ・「守破離」の考えに則った「型を破る」授業づくり
 - ・「認知のしくみ」から見直した学習方法の推進
- ◇ESD教育の推進(ユネスコスクール登録) SDGsの次の3点に重点を置いた教育活動の推進
 - 「11 住み続けられるまちづくりを」 「15 陸の豊かさを守ろう」 「16 平和と公正をすべての人に」
 - ⇒「有磨自然プロジェクト」「有磨文化プロジェクト」の充実深化